

小郡市地域おこし協力隊
による活動報告コラム。

小郡農業活性化

小郡で育てて

小郡で食べる

日々の活動を
配信中!

小郡市地域おこし協力隊

moromoro82

nougyou_ogori82

市産の農作物を、
多くの消費者へ



諸岡佳紀(もろおかよしき)

1984年、佐賀県生まれ。京都の大学を卒業後、金融業界、新聞社で10年間勤務。小郡市に住む友人の影響で、まちの魅力を身近に感じ、地域おこし協力隊に興味を抱く。35歳の節目に一念発起で応募。



花立山ふもとで無農薬野菜を育てる松本さん夫婦

無農薬サトイモ、「レールキッチンチクゴ」で観光客を魅了

小郡を拠点に無農薬野菜を生産する「あおぞら農園」のサトイモが、西日本鉄道の観光列車「レールキッチンチクゴ」で秋のメニューに採用されました。サトイモをバター風味のノリで味付けした一皿は、9月～11月の間、累計2千人以上に提供され、人気だったそうです。

「レールキッチンチクゴ」とは、西鉄福岡(天神)駅と大牟田駅を結ぶ特別便で、沿線地域の魅力を車両につめこんで走る観光列車。筑後の文化や暮らしを身近に感じてもらうため、地元農家が育てた旬の食材を車内で振る舞っています。

メニューに採用されたサトイモは花立山ふもとの赤土で育った「白芽」と言われる品種で、粘りのある口当たりと濃厚な風味が特徴。今シーズンは、豪雨や酷暑に耐え、味わいが特に引き締まっているそうです。

同農園は就農9年目で、東京からインターンしてきた松本家徳・亜紀さん夫婦が営んでいます。ズッキーニやオクラなど年間40種類以上を生産し、鮮度が売りの泥のついた野菜は大好評。取引先は全国に及び、小郡近辺の取引先には、配達担当の亜紀さんが朝採れの野菜を届けています。「地道な活動が実

を結び、「レールキッチンチクゴ」のメニュー化につながりました。今後も真摯な気持ちで地域の魅力発信の一翼を担いたい」と二人は声を弾ませます。



Ogostagram

地域おこし協力隊の日々の活動記録。



11月、市民団体「花立山芋っこ隊」が、城山公園そばの畑で「家族で楽しむ芋ほりday」を開催。多くの家族づれで賑わいました。



市体育館の駐車場で、シルバー人材センターによる焼き芋販売が行われています。春先にかけてのまちの風物詩。



福岡米麦大豆づくり推進協議会が主催する「令和2年度福岡県麦作共励会」で、農事組合法人花立が最優秀賞の知事賞を受賞しました。



JAみいが管内で採れた農産品を三井高校に提供し、同校の家庭クラブやスイーツ部がレシピを考案する試みが始まりました。



宝満の市に隣接した大崎ポケットパークで、マルシェ「てんとテンつながるマーケット」が毎月25日ごろに開催されています。イベント出店者募集中!



11月、小郡市の女性農家によるチーム「小郡☆農ガールズ」が、イオン小郡で販売会を開催。甘酒や野菜を元気いっぱい販売しました。